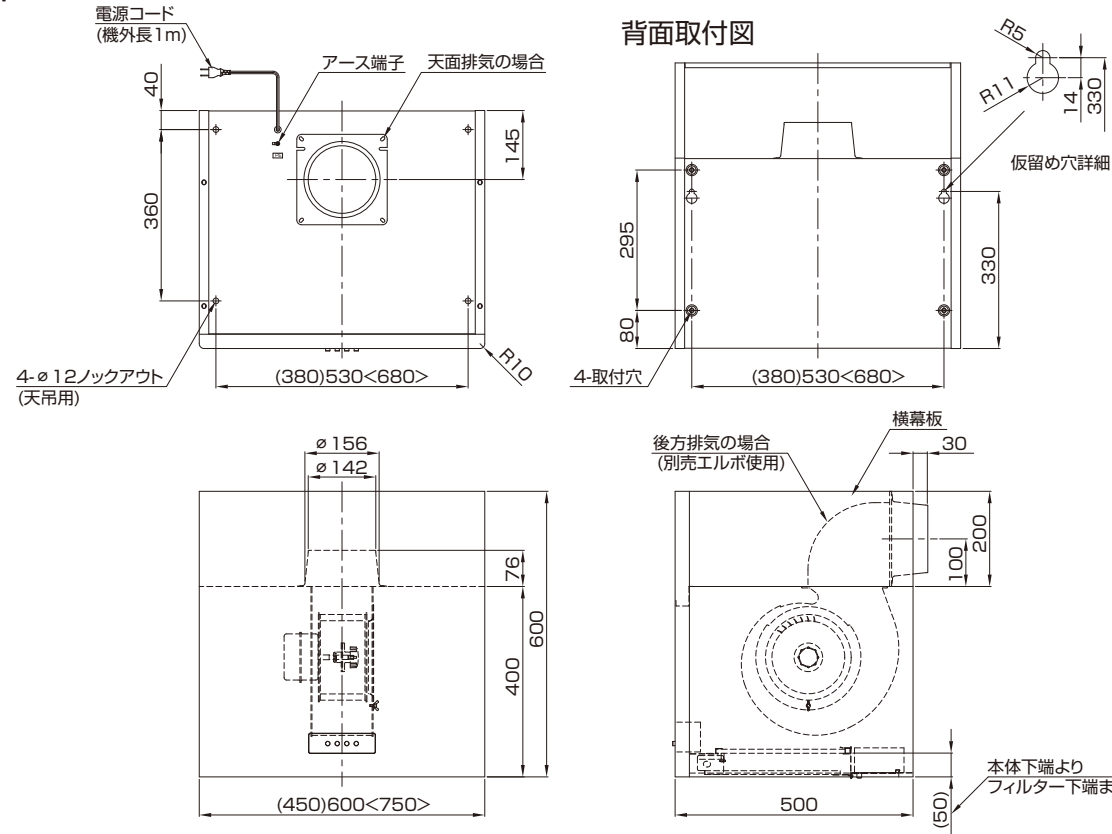


8 外観寸法図（取付寸法図）

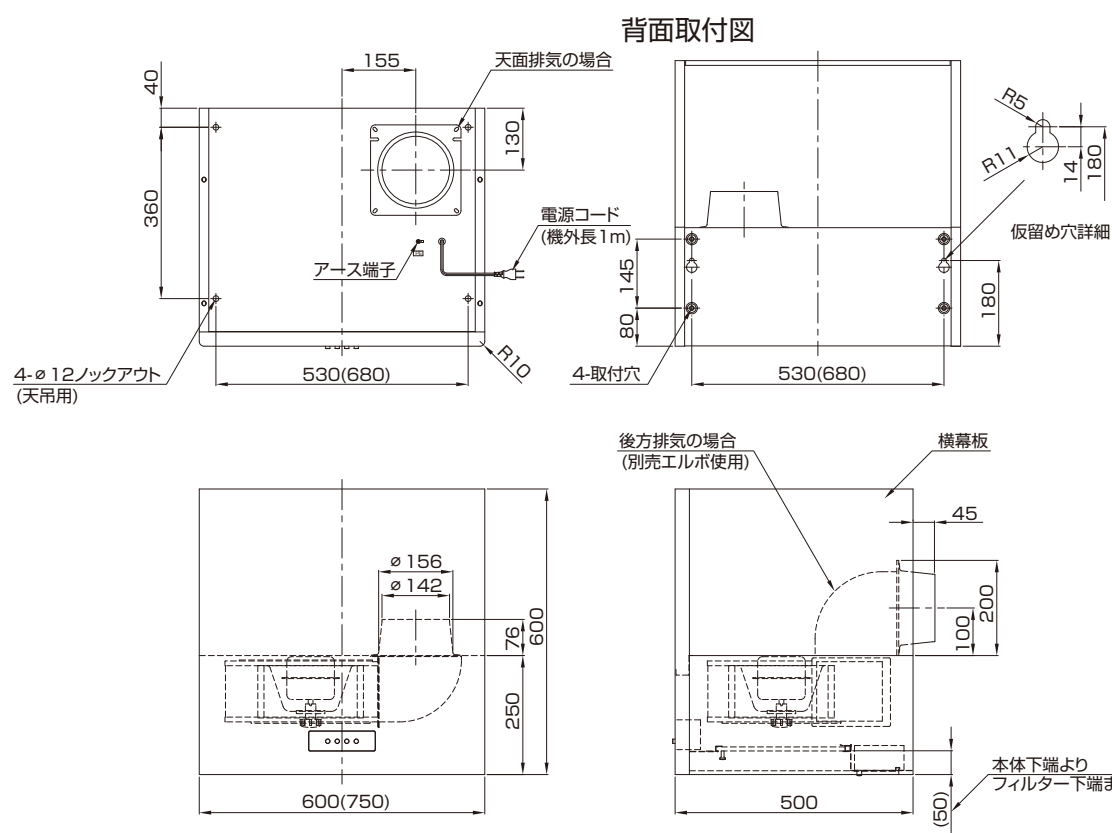
※特注仕様の場合、各寸法が異なる場合があります。

深型



※下記寸法図は右排気仕様です。左排気仕様の排気位置は中心に対して反対の位置になります。
※特注仕様の場合、各寸法が異なる場合があります。

浅型



9 電気配線



分解・修理・改造禁止

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
発火・感電したり、異常作動してけがをすることがあります。



アースを取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。
- 1 コンセントは125V、15Aのものを設置してください。
 - 2 必ずアース（D種接地）をしてください。
アース接地位置は「外観寸法図」を参照ください。
※アース線は取付・設置側にて手配してください。
 - 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。



使用禁止



取付注意

- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。

- 配線の接続は、「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って安全・確実に行うこと
誤った配線接続は感電や火災のおそれがあります。

10 試運転



注意



接触禁止

- 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと
けがをしたり、故障の原因となります。

- 1 本体の各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 2 運転時、各速調の排気が正しく行われていること。
- 3 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 4 取付け又は設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

11 お客様への説明

- 1 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 2 取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様へお渡しください。



株式会社 渡辺製作所

〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-11
カンケン京橋ビル5F

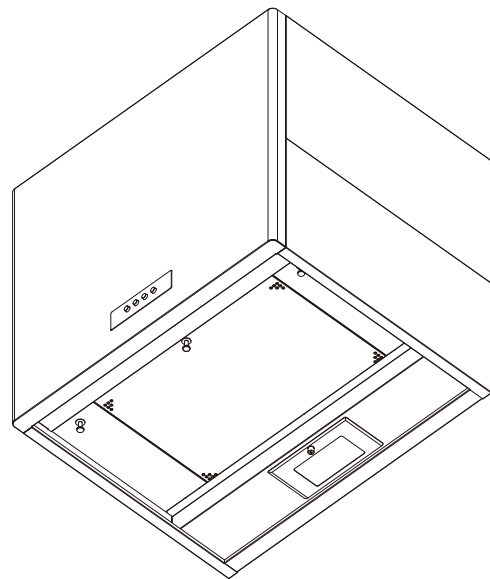
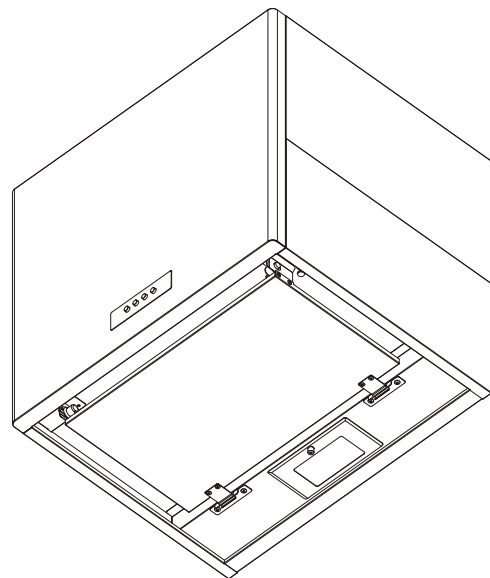
■東京支店 TEL (03) 3538-6690 FAX (03) 3538-6691

K4202322

取付・設置説明書
ボックス型フード
(シロッコファン)



- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



(WMS-※※1)
(WMS-※※2)
(WMS-※※3)

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

「禁止」事項
指示に従う

分解・修理・改造禁止
接触禁止

電源プラグを抜く
水場での使用禁止

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

- ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。
- ⚠ 警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
- ⚠ 注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

警告

**修理分解はしない**

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理改造は行わないでください。
発火・感電したり、異常作動してけがをするおそれがあります。

**水・洗剤等の液体についたり、かけたりしない**

●水・洗剤等の液体についたりかけたりしないでください。
ショート・感電や火災のおそれがあります。

**交流100V以外では使用しないこと**

●火災の原因になります。

**お手入れは「切」にしてから**

●お手入れや電球の交換の際は、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切ってください。(分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります。)ぬれた手で触らないでください。感電や、けがのおそれがあります。

**ガスものときはスイッチを入れない**

●ガスもの時は換気扇スイッチを入切しないでください。
ガス爆発の原因となります。

**レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。**

※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください。

注意

**調理中や運転中に部品をはずさない**

●調理中や運転中に、パーリングフィルター及び周辺の部品等はずそうとしないでください。
落下によりけがをするおそれがあります。

**部品を扱うときは厚手の手袋使用**

●部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。
金属端面などでけがをするおそれがあります。

**運転中は指や物を入れない**

●運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。
けがのおそれがあります。

**レンジフードにのらない**

●レンジフードにのったり、ぶら下がることはやめてください。
落下によりけがをするおそれがあります。

**部品の取り付けは確実に**

●部品の取り付けは確実に行ってください。
落下によりけがをするおそれがあります。

**電源プラグは確実に差し込む**

●電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
火災の原因になります。

**電源コードを傷めない**

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。
電源コードが断線し、火災の原因になります。

**電源プラグのお手入れを**

●定期的に電源プラグを抜き、電源プラグのほこり等を除去してください。
湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

お取付前の注意事項

- 部屋全体の換気には他の換気扇（ダクト用換気扇、または一般用換気扇）を併用してください。（レンジフードは局所換気専用です。）
- 取付・設置の際は厚手の手袋を使用してください。
- 取付高さは標準80cmです。（但し、消防法により規制される場合がありますので注意してください。）製品は調理器具の真上に取付け、取付高さは調理器具より80cm（※）の高さに取付けます。高すぎると排気効果が低下し、低すぎると台所での仕事のさまたげ

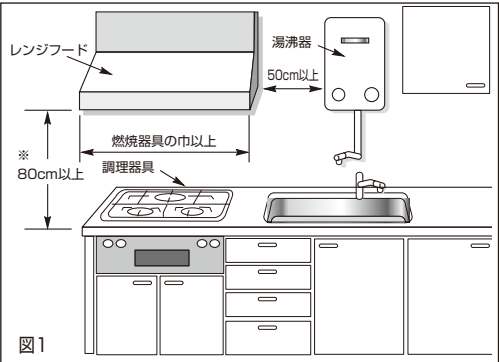
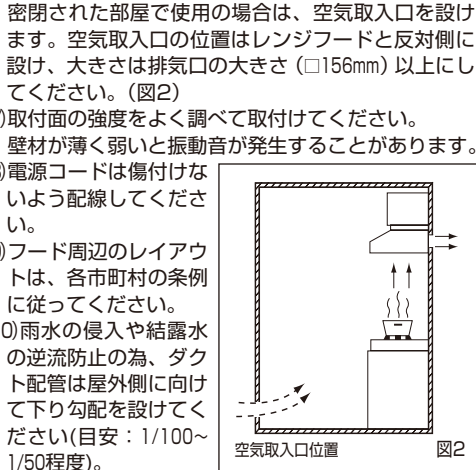


図1

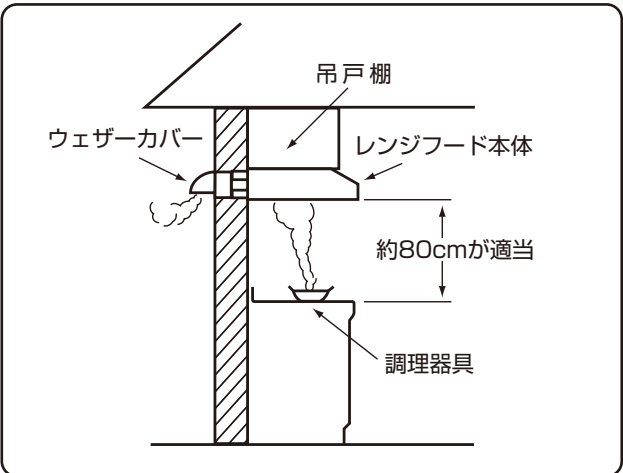
- になったり、高熱による故障の原因になります。(図1)
- 湯沸器の上部は高温になるので、湯沸器の真上には取付けしないでください。(図1)
- ダクト排気するときはダクト抵抗の確認が必要です。
- 密閉された部屋で使用する場合は、空気取入口を設けます。空気取入口の位置はレンジフードと反対側に設け、大きさは排気口の大きさ（□156mm）以上にしてください。(図2)
- 取付面の強度をよく調べて取付けてください。壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
- 電源コードは傷付けないよう配線してください。
- フード周辺のレイアウトは、各市町村の条例に従ってください。
- 雨水の侵入や結露水の逆流防止の為、ダクト配管は屋外側に向けて下り勾配を設けてください(目安：1/100～1/50程度)。



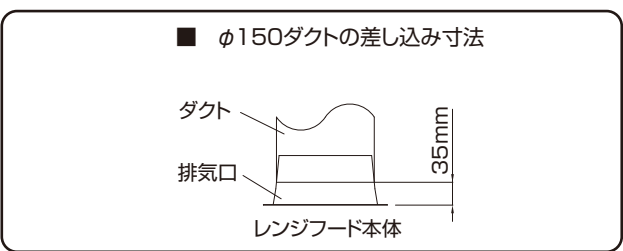
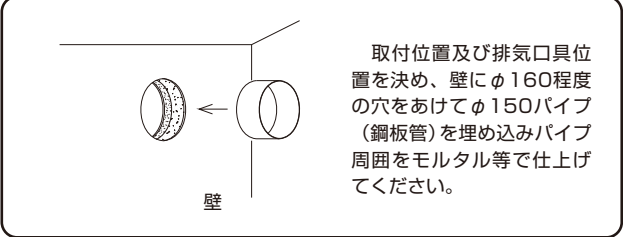
取付け方法

1 取付位置を決める

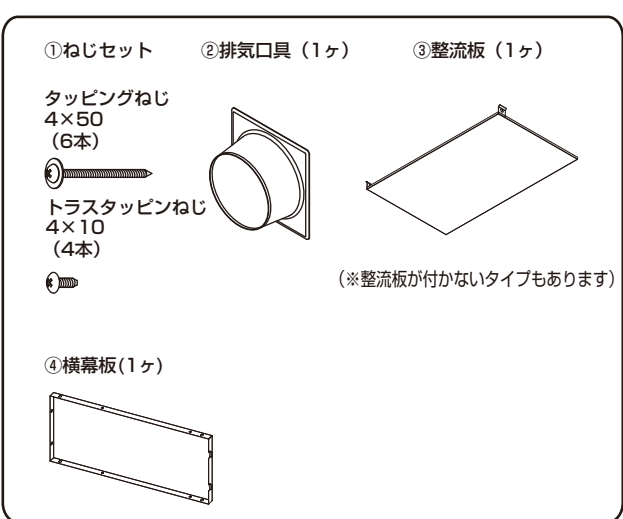
調理器具の真上 80cm 位の所に取付けてください。



2 壁に穴をあけダクトを取付ける



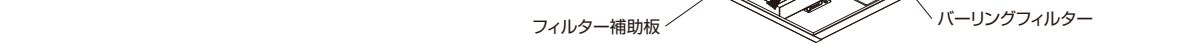
3 付属品を確認する



4 取付け前の準備をする

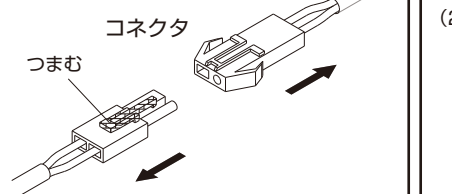
4-1 パーリングフィルターをはずす

パーリングフィルター（およびフィルター補助板）をはずしてください。
パーリングフィルター（およびフィルター補助板）の取っ手をつかんで奥に押しながら下げるとはずれます。



4-2 コネクタを抜く

本体内部のコネクタをつまんで抜いてください。



4-3 前面パネルをはずす

- 前面パネルを取付けている左右のツマミねじ（4本）をはずしてください。
- 前面パネルを手前に引いてはずしてください。

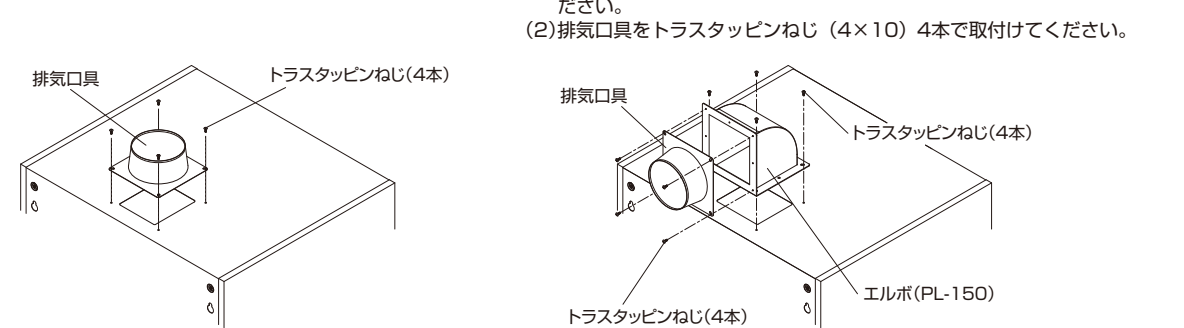


4-4 排気口具を取付ける

排気口具を取付ける際には、排気口具に貼付けてある「ご注意」をお読みの上取付けてください。

上排気の場合

排気口具をトラスタッピンねじ（4×10）4本で取付けてください。



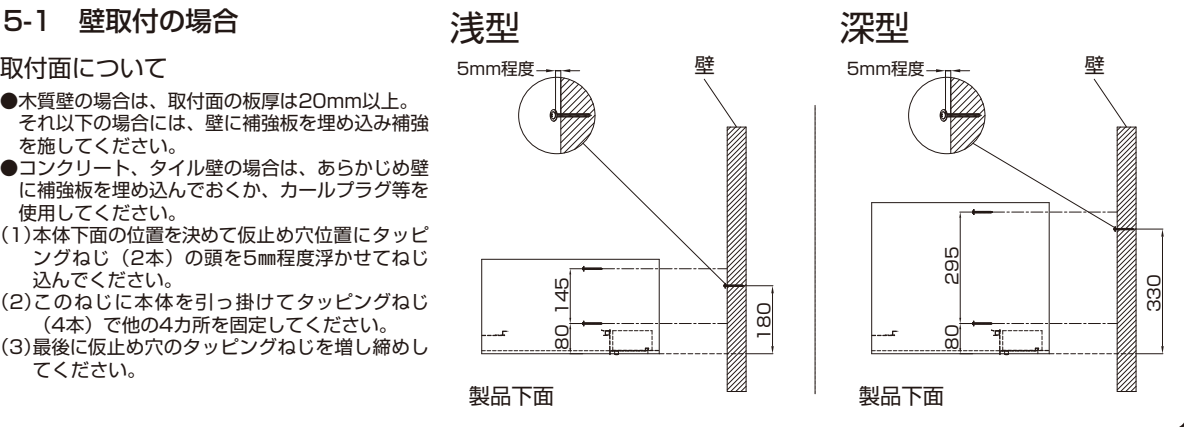
※排気位置は機種により異なります。

5 本体を取付ける

5-1 壁取付の場合

取付面について

- 木質壁の場合は、取付面の板厚は20mm以上。それ以下の場合には、壁に補強板を埋め込み補強を施してください。
- コンクリート、タイル壁の場合は、あらかじめ壁に補強板を埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用してください。
- (1)本体下面の位置を決めて仮止め穴位置にタッピングねじ（2本）の頭を5mm程度浮かせてねじ込んでください。
- (2)このねじに本体を引っ掛けてタッピングねじ（4本）で他の4カ所を固定してください。
- (3)最後に仮止めのタッピングねじを増し締めしてください。



横幕板の取付方法

- 本体天面の横幕板用ノックアウト（2ヶ）を打ち抜いてください。（横幕板を取付ける側）
- 横幕板を本体の内側からトラスタッピンねじ（4×10）2本で固定してください。（ねじは本体のねじセットとは別に、横幕板に付属しています）
- 横幕板を座付丸木ねじ（4.1×22）で後壁面に固定してください。

※注1 天井面にも固定すると取付強度が増しますが、天井面への固定は各市町村の条例に従い行ってください。



5-2 天井吊りの場合

- 別売のバックパネル及び追加の横幕板が必要です。
- 本体の天井用用ノックアウト（4ヶ）を打ち抜いてください。
 - 「5-1 横幕板の取付方法」を参考に本体の両側に横幕板を取付けてください。
 - バックパネルをトラスタッピンねじ（4×10）4本で本体と横幕板内側から取付けてください。

- 本体の吊ボルト位置を確認して、吊ボルトを垂らしてください。
- 吊ボルトはM10を用いてください。
- 製品下面の位置を決めて吊りボルトにM10のナットとワッシャー（取付業者手配）を差し込んでください。
- 本体の取付け穴に吊ボルトを差し込み、下側からM10ナット、ワッシャー（取付業者手配）をしっかり締め付けてください。

※取付けの際は本体が必ず天井に当たるように設置してください。

6 前面パネルを取付ける

前面パネルを取付けてください。側面のツマミねじ（4本）を穴位置に合わせて締め付けてください。

7 コネクタを差し込み、パーリングフィルター・整流板を取付ける

- 前面パネル側と本体側のコネクタを接続してください。
- パーリングフィルターを取付けてください。
- 整流板がついている場合は、整流板を取付けてください。
- (1)整流板を両手で持ちながら奥側のフック（2ヶ所）を金具（2ヶ所）に引付けてください。
- (2)整流板の手前側を持ち上げ、左右のストッパーにはまるまで押し込んでください。整流板を軽く手で上下に動かし、確実に取付けられていることを確認してください。

